

学び舎ひまわり番外編 開催報告

DATA

区外実践事例視察

日時 平成29年 1月 25日(水) 10時30分~17時

会場 六ツ川地区連合自治会・横浜市民防災センター

受講生 22名(地域 18名 ケアプラザ 2名 区役所 2名)

1 六ツ川地区連合自治会「野外サロン」 ~土でつながる~



六ツ川地区連合
前会長 東梅さん

高齢者を見守りあうために、開墾して出来た地域の畑「野外サロン」。土いじりをしたい人たちが定期的に畑に集まるようになり、おしゃべりなどを楽しむ交流が生まれました。また、自分たちで作った野菜を販売する「朝市サロン」を開催したり、小学校に農作業を教えに行く「農援隊」を結成したりと、活動の幅を広げました。こういった活動は担い手の発掘にもつながり、この活動を機に自治会の役員などを引き受けてくれる人も出てきました。

ポイント

参加者を募るのは「動員」ではなく「手上げ方式」で。楽しい活動を続けることで参加者が増え、自信が持てました。



活動への参加を呼びかける時の工夫とタイミング、土地利用についての状況、生ごみ肥料化に関する情報など、たくさんの意見が出ました。



菜園の見学

この時期は作物が少なめでしたが、いくつか立派なブロッコリーが実っていました。手作りの机を囲んでこの場で野外サロンを開催しているとのこと、広い空の下でのおしゃべりはとっても気持ちよさそう！



もし横浜で大災害が起こったら、どういう行動をとったら良いのか？映像やシミュレーター、消火器訓練など様々な体験を通して、防災・減災について出来ることや備えについて考える機会になりました。

「災害シアター」「災害シミュレーター」



横浜で想定されている地震は、マグニチュード 8.1、震度 6（市民防災センターパンフレットより）その時に予想される、建物倒壊など街の様子、停電、火災、電話不通、道路の寸断など、映像を通して学び、また実際の地震を体験できるシミュレーターに乗り大災害時の様子を体感しました。

「減災トレーニングルーム」「火災シミュレーター」



消火器を使った初期消火訓練や火災時の煙が充満した中での避難訓練。家庭内で災害が起きた場合の行動シミュレーターなど、実践につながる体験をしました。

学びのまとめ 集計結果

回収数：18件 回収率：81.8%

満足	やや満足	やや不満	不満
17	1	0	0
94.4%	5.6%	0%	0%

受講生の主な意見

（六ツ川地区連合自治会の活動について）

- ◎楽しくなければ、人は集まり動かないことを再認識できました。
- ◎「動員」ではなく、「手上げ方式」になるよう、町内活動に活かしたいと思います。
- ◎多くの人に参加できるまでの努力や日常の活動に、参加者が一丸となってやっている姿が印象的でした。
- ◎民生委員として、「ひとり暮らしの見守り」もいろいろな見守りのきっかけがあるんだな、と参考になりました。「土」でつながる、いいですね。

（防災センターについて）

- ◎体験はありえない事でしたが災害に備えて、日々考えなくてはと改めて感じました。
- ◎身近な怖い体験をさせていただき、日々の生活の中で出来ることから取り入れていきたいと思いました。
- ◎新しくなって行きたいと思っていたので、良かったです。